

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		支援室と待合室、事務所のスペース確保にパーティションなどを取り入れている。	子供の特性や支援の内容など指導員と話し合い、みんなが気分良く使える組み合わせを検討している。
	②	職員の配置数は適切である	○		スタッフ1名がどの時間帯でも自由に対応できるようにしている。	振替などでスタッフと利用者が同じ人数になり、自由に動けるスタッフがいないときがあるため、配置人数不足にならないようにヘルプ等を取り入れていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者の特性によってパーティションなどを使い、スペースの確保をしている。 絵の付いた張り紙やカード等を提示し、一目でわかるように工夫している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		会社内研修や外部研修などで職員の資質向上の機会を確保している。	今後も継続して会社内研修や外部との交流を行い、職員の資質向上の機会を作っていく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		状況に応じて会議等を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別支援のニーズの方の利用が多いため、個別活動の児童発達支援計画の作成を中心にしている。不定期で集団活動を取り入れている。	子供の状況に応じて集団活動の目標を入れるのかを事業所内で話し合い取り入れることを検討している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行い、見直しを行っている。	
関係機	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当者が参画できるように努めている。	状況によっては参画できない時もあるため、管理者が参画し、

関 や 保 護 者 と の 連 携					担当者に共有するなど で対応していく。	
	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の要望がある ときに取り入れている。	こちらから必要な時 に声をかけることができ るように努めていく。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関 係機関と連携した支援を行っている		○		現在該当する子供が いない。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整 えている		○		現在該当する子供が いない。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特 別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の 情報共有と相互理解を図っている	○		振り返り時や事業 所内相談支援時に 保護者の相談を受 け要望等を確認す るようにしてい る。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学 部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解 を図っている	○		振り返り時や事業 所内相談支援時に 保護者の相談を受 け要望等を確認す るようにしてい る。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業 所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携 し、助言や研修を受けている	○			
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある		○		
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子 育て会議等へ積極的に参加している		○		
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保 護	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対 して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等) の支援を行っている	○		振り返り時に保護 者と会話をし、保 護者の手助けにな るように努めてい る。	色々なケースを知り、 保護者の方が安心して 帰られるように、スタ ッフ一同努めていく。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ている	○		ご利用者に語弊が ないように丁寧な	

者 へ の 説 明 責 任 等				説明を努めている。		
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談や振り返り時に対応し、必要な助言や支援を行っている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者向けのイベントを取り入れている。	今は子供と保護者が分かれてのイベントを行っているため、今後は子供と保護者がともに参加できるイベントを検討している。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNS やプリントを使い、全体に通知している。	定期的に報告ができていない部分もあるため、職員と話し合い、発信の機会を増やしていく。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		利用者に関する資料やパソコンは必ず鍵の付いたロッカーに保管している。	情報共有に漏れがないよう適宜対応していく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		地域住民を招待する企画はたてられていないため、今後検討していく。	
	非 常 時 等 の	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
④⑫		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回防災訓練を行っている。	

対応	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			現在食事提供をしている子供がいない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、職員と共有し、未然に防ぐため報告書を作成し、保管している。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		月に1回研修を行っている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」阪急茨木校 保護者等数（児童数）：25 回収数：19 割合：76 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	3		3	他を知らないため比較できない。	他事業所さんと同じく法令に基づき配置させていただいています。また、専門性に関しても研修等々で高め精進している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	4		2	他を知らないため比較できない。	他事業所さんに負けないように、本人に合わせて構造化等もさせていただき、過ごしやすい環境を整えられるように努めていく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18			1	清潔にされていると思う。	ありがとうございます。今後も皆様に気分よくご利用していただけるように清潔にすることを努めていく。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	1		1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			8		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18			1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	2		2	うちの子供はある程度固定されて落ち着	固定が必要な子と固定しない方がいい子かどうかモニ

								いて支援に臨 めている。	タリングをし、そ の子にあうように プログラムを組ま せていただいている。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	4	5		保育所に通っ ている場合、 イベントに参 加できない。 こども園との 交流はない。 個別指導が希 望のため交流 がなくても大 丈夫。	皆様が参加しやす い時期にはさせて いただいている が、もう1度、皆 様が参加しやすい 日や時間帯を知 り、皆様に参加で きるようにしてい く。 会社にご意見を報 告させていただ き、実現できるこ とは実現させてい けるように努めて いく。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明が なされたか	18		1			丁寧にご説明 していただき ました。	ありがとうございます。 今後も丁寧 に、皆様に説明さ せていただければ と思っている。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基 づく作成された「児童発達支援計画」を示しながら、 支援内容の説明がなされたか	14			4			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・ト レーニング等）が行われているか	10	3	3	3			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができている か	14	4					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する 助言等の支援が行われているか	13	3	3	3			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か	8	1	4	6			
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対 応の体制が整備されているとともに、子どもや保護 者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速 かつ適切に対応されているか	15	1	1	2			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか	15	1		3			

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	3	2	7	定期的ではありません。	定期的に更新できるように、事業所内で会議を行っていきたいと思っている。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15			4		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	1	2	5		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	3	1	5	その日に見ていないのでわからない。	毎月必ず行っている。子供たちが参加できる機会もあるので、1度参加していただければと思っている。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	16	2		1		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	17	1	1		教えている時間と1回の時間との差が大きい。	見学や体験や契約の時に状況によって時間に多少の誤差があることをお伝えしているが、保護者様にご不満をいだかないように指導員にも支援の時間のばらつきがないようにお伝えするのを努めている。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。